



日本共産党市会議員

2016年04月10日

庄本けんじ

携帯 090-6665-9401

議員控え室 0798-35-3368

活動ニュース

貧困対策

抜本強化いまこそ必要

ことしもやはり、貧困問題が深刻です。2016年度の西宮の市税収入の予算を見ると、わずかとはいえ、市税収入全体は増え、個人市民税の収入が落ち込むとしています。これは、西宮も貧困が広がり、格差が広がっているということをしめしています。いまこそ、西宮市も、くらし応援の施策を強力にすすめるべきときです。ところが、今村市長は格差の広がりを認めようとせず、貧困対策はおざなりです。

日本共産党西宮市会議員団は、こうした市長の政治姿勢を批判するとともに、貧困対策の抜本強化を強く求めています。

貧困と格差の広がりを認めない市長
市民の暮らしは多様」とごまかす

子どもの貧困実態調査 本気で取り組んでこそ

西宮市でも「子どもの貧困対策実態調査」をおこなうことになりました。予算が300万円計上されていますが、国からの補助金が225万円。国の施策としてもおこなわれるものです。

重要なことは、本気で取り組むことです。国からやれといわれているからやるという態度ではなく、貧困を撲滅するという固い決意で、実効ある対策を急ぎ実施することが求められています。



なくせ！
子どもの貧困

奨学金制度の思いきった拡充を

入学準備金（就学援助）は
入学前の3月支給に！



育成センターの開所時間 夏休み等、8時に繰り上げ実施



「延長料」1000円の徴収を否決

子どもたちが放課後などを過ごす留守家庭育成センター（学童保育）は、いま、夏休みなどの開所が朝8時半です。「8時半では遅すぎる」「もう少し早い時間に開所してほしい」という強い要望があります。この要望を受けて、市は今年度、4つの育成センターで開所時間を8時に、30分繰り上げるモデル事業を実施することとなりました。

ただ、市は当初、この繰上げ実施に対して、30分の「延長料金」1000円を徴収する議案を提案してきました。これはあまりにもひどすぎる、ということで、日本共産党西宮市議員団は、「延長料金徴収」の議案に反対を表明。他の会派議員も反対の声を上げ、全員一致でこの議案を否決。

「延長料金」なしで30分繰り上げ、8時から開所されることとなりました。

市議団は、すべての育成センターでの早期実施を強く要望しています。

高すぎる国民健康保険料 基金活用して引き下げを



年々増え続ける国民健康保険料。払いたくても払えない！家計を圧迫している！国民健康保険料の負担は重過ぎます。かつて、西宮の国民健康保険料は兵庫県で一番高い保険料でした。この保険料を何とか引き下げようと、市民運動がおこりました。この運動が力を発揮して、一般会計から国保会計への繰り入れが始まり、保険料が少し抑制されることとなりました。

市長提案の予算を修正可決

日本共産党は予算案に反対

市長が提案した予算が、議会の賛成多数で、修正可決されました。修正（予算の削除）されたのは、「広報アドバイザー」と「西宮の休日事業」の二つです。

日本共産党西宮市議員団は、二つの修正案に賛成し、修正を除く予算原案に反対しました。

市長が提案した予算案は、難病患者さんへの見舞金廃止、保育所の待機児童、教室が足りなくなるなどの問題を引き起こす無秩序なマンション開発の放置、高すぎる国民健康保険料など、安倍政権の悪政追認の予算となっています。

日本共産党市議団は、今村市政と正面对決し、住民の暮らしを守るために引き続きがんばります。